



## 「夢や希望をもって前進する子供の育成」をめざして

この度、歴史と伝統のあるバンコク日本人学校に着任しました 藤原 鎌次（ふじはら けんじ）です。よろしくお願いいたします。

バンコク日本人学校は、4月21日（金）に着任式及び始業式、4月22日（土）に入学式を実施し、全校児童生徒2,183名で令和5年度のスタートを切りました。

今年度の教育目標は学校便りのタイトルでもあります「夢や希望をもって前進する子供の育成」です。



そのことに関わって、始業式では子供たちに以下の内容の話をしました。

- ・今年度頑張ってもらいたいことは、「夢や希望をもって前進」すること
- ・夢や希望をもって前進している人は次のような人である
  - 今自分は何をしなければいけないのか、何を頑張らなければいけないのかがわかる人
  - 少々の失敗があってもくじけず、諦めない人
  - 転んでも、立ち上がって、夢や希望に向かって歩き出せる人
  - もし万が一、仲間が誰かをいじめていても、つられずに、逆にそういった悲しいことをする人を許さない強く優しい人
  - 頑張っている仲間の良さをいっぱい発見し、見つけたその良さを自分にも取り入れようとする人
  - 自分のことや友達、家族、周囲の人のことを好きになれ、大切にすることが出来る人
- ・このような人を目指して、いつも具体的な夢や希望をもって、それを達成するために努力できる人になってほしい



この教育目標の達成を目指して、バンコク日本人学校全教職員が、チーム一丸となって、全力で取り組みます。

しかし、子どもたちの健やかな成長は、学校の力だけで達成できるものではありません。

泰日協会をはじめ、子供たちの教育に関わっていただけるすべての皆様のご指導ご支援をいただきながら、家庭と学校が強い連携を図って取り組んでこそ、達成できるものと信じています。

まさに社会総ぐるみで「日本の宝」である子供たちを守り、育てていきたいと思っています。

今年度も様々な面でご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。